

移住定住ガイドブック 2019

AIKAWA TOWN PASSPORT

ようこそ、

あ

起業・就業を応援する町

三世同居を応援する町

い

子育てライフを応援する町

の

健康な毎日を応援する町

放課後学習を応援する町

ま

ち

へ

ずっと一緒に居て欲しいから。

愛川町

あ

新しい仕事、はじまる。

愛川町で働くこと、そのキーワードは「自然」です。
無公害型の工業団地として高い評価を得ている「神奈川
県内陸工業団地」などの工業、清流・中津川の「水」ときれいな「空気」、豊かな大地の「土」を生かした農業など、多彩な
産業が根づいています。
そして、自然に囲まれた中で自分のペースで働くことが
できる「テレワーク」での起業を支援するなど、新規ビジネス
の創出を推進していきます。

愛川町で、起業する

- 起業にかかる経費の5分の1以内、**最大10万円**の一般起業補助制度。
- また、**テレワーク起業**を志す方へ！
起業経費の5分の1以内、**最大15万円**を補助します。
- 空き店舗を起業の拠点として活用する
場合、改造・改築経費の3分の1以内、**最大20万円**を補助します。



愛川町で、職に就く

- 愛川町にある神奈川県内陸工業団地では、**100社**を超える企業が操業しています。
圏央道の開通に伴い、ロジスティクスの新拠点としても注目されており、多彩な企業が立地しています。
- 町内の民間保育施設、医療機関、介護サービス / 障がい福祉サービス事業所などに就労する保育士、看護職、介護職などの方に、**最大20万円**の奨励助成金を交付します。



愛川町で、就農する

- 農業次世代人材投資資金は、新規就農時の不安定な収入を支援するもので、
年額**最大150万円**
(夫婦の場合は**225万円**)を
最長で**5年間**交付します。
- このほか、**新規就農者奨励金(最大6万円)**もあります。
- さらに、家賃を補助する
新規就農者支援家賃補助金も
あります。
(最大で月額**3万円**)



都心から近い場所で
豊かな土地を
探していた。



い

田舎にしては、 ベンリ過ぎるし。

愛川町は、町内の移動がとても便利な町です。道路網やバス路線が充実し、町内循環バスを活用してスーパーにも行けるし、「コンビニもたくさんある。生活に必要な施設はひとつたり揃っています。

また、観光地である県立あいかわ公園や宮ヶ瀬ダムへは、町の中心部から車で30分足らずで到着しますし、外国人が多い町内には、異国情緒を体感できるスポットもあります。こうした魅力が注目され、各支援制度を活用して、新たに

住居を構える若い世代も増えています。

まいにちのお買い物も、 交通も充実

- 毎日の暮らしに便利なコンビニエンスストアは**20店舗以上**、ドラッグストア**6店舗**、大型スーパーも**4店舗**あります。
- 町内循環バスは、どこで乗っても**1回100円!**「**町民の足**」として、とても好評です。



住宅を買う、探す

- 親・子・孫などの三世代が町内で同居するため住宅を取得あるいは改修する場合に、その費用の一部を、取得で**最大30万円**、改修で**最大20万円**補助します。



- 住宅用太陽光発電設備設置**への助成制度があります。設置費用の一部、**最大5万2千円**を補助します。



- 空き家を活用して町内にお住まいになる方のために、**空き家バンク制度**を用意。登録された空き家の取得などにかかる費用の一部を補助します。取得で**最大60万円**、解体で**最大30万円**、改修で**最大20万円**、耐震改修で**最大50万円**などです。



- 愛川町に居住・就労する方が、住宅を取得・増改築をする場合に、対象となる4金融機関から借り入れた資金の利子の一部を補助します。

いろいろな国の人と、交流できる

- 愛川町には、南米諸国やアジア諸国など、**外国人の方2千人以上**が働き、暮らしています。夏の勤労祭野外フェスティバルでのサンバや国際屋台村の催しなど、**多文化交流**が行われており、外国人向けの料理を提供するお店もあります。

かわいい孫と
一緒に暮らす夢が
かなった。



の

のびのび育つのは

ボクだけじゃない。

ね、パパ、ママ！

愛川町でめぐり合い、家庭を持つ。
愛川町で子どもが産まれ、すこやかに育っていく。
日々の仕事に忙しいパパ・ママが、柔軟に子育てをできる
環境を整え、多様化する保育ニーズにも応えています。
子育てに奮闘するパパ・ママの笑顔が見たいから、愛川町
は「ふたりの出会い」から応援します。

婚活・新婚生活を応援

- 結婚を機に取得した新居の購入費や新居の家賃、引越しの費用を**最大30万円**助成し、若い世代の新婚生活を応援します。
- 宮ヶ瀬ダムなど町内の観光スポットを巡る「**婚活バスツアー**」を開催。ふたりの出会いを応援します。



出産・育児を応援

- 第1子の出産時に**3万円**、第2子**5万円**、第3子以後は**7万円**の**出産祝金**を交付します。
- 2歳未満のお子さんに月額**1,500円**の**育児用品購入助成券**を**最大45,000円**支給。町内ドラッグストアでおむつなどの購入に使用できます。
- 中学校3年生までの入院・通院医療費の自己負担分が**無料**です。
- 子育て支援センター**では、経験豊かなスタッフが子どもに遊びと触れ合いの場を提供。パパ・ママ同士の仲間作りもできます。
- 「**妊娠・出産・子育て総合相談**」を実施。保健師・助産師が妊娠～子育て期の不安や心配事に対し、切れ目のないサポートを行います。
- スマートフォンなどで、育児の記録や予防接種スケジュールの管理機能を搭載したアプリ「**電子母子手帳**」のサービスを行っています。



働くパパ・ママを応援

- 町立保育園**6園**、私立幼稚園**3園**、認定こども園**1園**、小規模保育施設**3施設**があります。
- 就労や育児疲れなどで、家庭での保育が一時的に難しくなったときのために、町立保育園2園での**一時保育**を利用できます。
- 児童に放課後の遊びや生活の場を提供する「**放課後児童クラブ**」を全小学校で開設しています。
- 送迎や預かりなど、育児サポートを受けたい方・行いたい方の間をとりもつ「**愛川町ファミリーサポートセンター**」を運営しています。



自然の中で、
のびのびと
子育てできる。



ま

眩しい笑顔を、育てたい。

愛川町の教育のモットーは「人づくり」。
家庭・地域と連携する開かれた学校で、児童生徒一人一人が笑顔になれることを大切に、町の未来を担うたくましい人材を育てます。

子どもたちが自らの将来を考え、目標を持つことを尊重し、高校や大学に進学した後もバックアップしていきます。

学習支援、人材の育成

- 学習習慣を身につけ、学力を伸ばすために、小学校3・4年生及び中学生の希望者を対象として、**放課後学習**を全小・中学校で実施しています。
- 義務教育9年間を通して学力を伸ばし、さまざまな課題を解決する力をつけるために、小中学校の教職員が連携した、「**小中一貫教育**」を推進しています。
- 県立愛川高校は、県内唯一の「**地域連携型 中高一貫教育校**」。町の全中学校と連携し、確かな学力と豊かな人間性・感性を身につけるプログラムを実施しています。
- 住民団体との協働により、支援を必要とする小学校3年生から中学校3年生までの児童生徒を対象に、学習支援や居場所を提供する「**土曜寺子屋**」を実施しています。



充実の教育環境

- 全小中学校に**大型テレビ**や**タブレット端末**を導入し、動画や写真などを使い、楽しく分かる授業を実施します。
- 全小中学校の普通教室に**エアコン**を完備。児童生徒の健康面をサポートし、快適な学習環境を作っています。
- 全小中学校に**インクルーシブサポーター**を派遣し、支援を必要とする児童生徒に柔軟に対応しています。
- 全小中学校に**スクールカウンセラー**と**スクールソーシャルワーカー**を派遣し、暴力行為やいじめなどの課題や不登校にも早期に対応します。



人づくりは、将来に花開く

- 町立中学校の2年生全員が、町内の企業や事業所などで**職場体験**を行います。生徒たちが自身の将来・キャリアを考える機会になっています。
- 高校への通学負担を補助します。
バス通学定期代の約**20%**
自転車購入費の**50%**（最大**2万円**・電動アシスト自転車**最大6万円**）
- 高校や大学に通うため、町内の金融機関から融資を受けた教育資金について、利子の一部を助成します。（年間**最大2万円**、就学期間中最長4年間）



先生や友だちが、
勉強を
助けてくれた。



ち

チカラが、
すこしずつ湧いてくる。

愛川町は平成元年に「町民みなスポーツの町宣言」、平成28年に「愛川健康のまち宣言」を行いました。
超高齢社会への流れにあっても、皆が健康で、活気のある町を目指して、これからもスポーツを愛し、まちぐるみで健康づくりを進めていきます。
さあ、元気に暮らしましょう！

スポーツのまち

- 「町一周駅伝」には、今年45チームが参加。正月の愛川路を元気に駆け抜ける人が増えています。
- 楽しい種目が盛りだくさんの「町民みなふれあい体育大会」「スポーツ・レクリエーション・フェスティバル」を毎年交互に開催しています。
- 町立の野球場とソフトボール場が合計7カ所。サッカーの試合もできる陸上競技場やウォータースライダーのあるプールもあります。



- 町のスポーツ団体をとりまとめる愛川町体育協会には、21の団体が所属。多彩なスポーツ教室も実施しています。

大きくなっても一緒にスポーツができればいいな。



健康な毎日

- 町内には「愛川北部病院」と26カ所の「**医科・歯科診療所**」があります。日曜・祝日に当番医を置くなど、夜間や休日の救急時にも受診できるよう、医療体制の充実を図っています。



- 健康に関わる各種の取り組みに、「**健康ポイント**」を進呈します。ポイントは抽選で素敵な特典と交換できます。

- 「**健康度見える化コーナー**」を健康プラザ内に開設し、健康度チェックや健康相談ができます。



輝く高齢者

- 70歳以上の方に、高齢者バス割引乗車券「**かなちゃん手形**」購入費の**6,000円**、電動アシスト三輪自転車の購入費の**25% (最大25,000円)**を補助します。



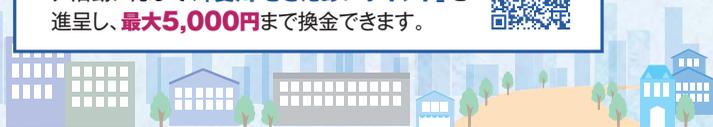
- 運転免許証を自主返納した75歳以上の方に、「**町内循環バス乗車券 (50回分、5年間)**」、「**かなちゃん手形 1年券**」を贈呈します。

- タブレット教室や認知症サポーター養成などの講座を開催し、ボランティアや趣味・仕事など、多方面で活躍する「**アクティブシニア**」を応援します。

- 65歳以上の方に、介護施設などでのボランティア活動に応じて、「**愛川-ささえあいポイント**」を進呈し、**最大5,000円**まで換金できます。



毎日2人で「愛プラ」





移住の先輩たちにインタビュー

佐藤さん(左) 「年茶屋」年岡さん(右)

2018年
移住



2013年
移住

夫婦で古いモノ・和モノが大好き!山で働く夫の勤務先に近いということもあり、古民家への移住を決めました。2年前、明治時代に建てられた家を手に入れ、時間をかけてリノベーションし、今年2月にカフェ「年茶屋」をオープン。お店の雰囲気に合ったワークショップも開催しています。

ご近所の「働く女子」の輪が広がっており、皆と一緒に、愛川町や年茶屋の魅力を発信していきます!(年岡さん)

古き良きものを大切にしたい古民家暮らしに憧れ、年岡さんも住まれていた古民家に移住しました。そんな御縁もあり、月に1回、年茶屋でおむすびランチを提供しています。

愛川町の良さは、「人」と「自然」。恵まれた暮らしの中で、やりたいことが次から次へと浮かんできます!(佐藤さん)

佐々木さん ご家族

2015年
移住



キャンプや釣りなど、アウトドア好きにはたまらない自然との距離感!都心にもレジャーにも、どこに行くにもちょうどいいアクセス!手厚い子育て支援!そんな、愛川町の恵まれた環境に惹かれ、移住を決めました。

自宅は中津川のすぐそば。良い具合に湿気があり、夏も涼しく快適に過ごせまし、四季を感じながら、自然の中で生きていると実感しています。虫捕りが大好きな息子は、観察会や標本作り教室などにも参加し、健やかに育っています。地域の方々もとても温かく、行事などにも楽しんで参加しています。

自然の中で、のびのびと暮らしたい!何よりアウトドアが好き!そんなあなたには、絶対オススメな町です!

「わんぱく自然農園たむそん」 田村さん

2012年
移住



自然農法の農家を志し、都心から近い場所で土地を探していました。

実際に訪れてみて、豊かな自然と探していた自然農法に適した豊かな土地があったので、愛川町に移住を決めました。

移住の際も新規就農者の受け入れを推進している町です、大きな苦勞はありませんでした。

今では、収穫した野菜を皆で食べたり、家族そろって楽しめるワークショップを畑で開催し、町の良さを知ってもらう活動もしています。

とても住みやすい町ですよ。移住先としてお勧めです。

「Organic Life Vegele」 原田さん

2013年
移住



大学卒業後に有機農業(野菜)を学び、恩師から「就農地は土で選べ!」とアドバイスを受けました。そして、野菜を育てるのに適した、愛川町特有のサラサラで柔らかな黒土に魅力を感じ、都心から近く、販路も潤沢にあったことから移住を決めました。

2年間の農業研修を積み、2015年に起業しました。研修時から借りている自宅は、畑まで車で10分程度で、近くにスーパーやホームセンターもあり、とても便利です。

地域の消防団にも所属し、知り合いも増え、快適に過ごせているのが嬉しいです。ゆくゆくは自分の家を建てられたらと思っています。

山も川もあり、空気も綺麗なので、都会から愛川町に帰ってくるのがホッとします。都会で働く人にとっても住みやすい町だと思います!

スマホでもパスポートを見ることができます！



スマホユーザー向けに、移住定住情報に加え観光スポットなど愛川町の魅力を美しい写真や迫力ある動画でお届け！検索機能や生活便利帖、Googleマップを活用したナビ機能でお気に入りのに入れておけば愛川町初心者の方でも欲しい情報にたどり着けるスグレモノ！どうぞ活用ください！



<https://pocketnaikawa.com>



愛川町の最新ニュースは、こちらからも！

愛川町ツイッター

愛川町チャンネル

ポケットに愛川

愛川スランド劇場



愛川レッドカーペット

いいねっ♡愛川町毎月フォトコン



都心からグーンと近くなりました！クルマで約1時間！

♡ アクセス

- 圏央道「相模原愛川インターチェンジ」から
国道129号を經由して、神奈川県内陸工業団地・中津方面へ(約10分)
- 圏央道「相模原インターチェンジ」から県道510号經由で
県道65号または国道412号を宮ヶ瀬ダム・半原方面へ(約20分)



町中心部へ行く

移住相談窓口

愛川町総務部総務課広報・シティセールス班

☎ 046-285-2111 (代)

〒243-0392 神奈川県愛甲郡愛川町角田251-1

✉ メール koho@town.aikawa.kanagawa.jp

この冊子に掲載されている制度・情報は、令和元年5月1日時点のものです。また各支援には条件があります。詳細はお問い合わせください。